

KANNON
MUSEUM

極楽

2019年度 観音ミュージアム展の特集展

「地獄めぐり」
の道

の道

2019 7/12 (金) - 9/23 (月・祝)

主催 観音ミュージアム企画展実行委員会 後援 公益社団法人鎌倉市観光協会 / 江ノ島電鉄株式会社



観音ミュージアム
KANNON MUSEUM

受付時間：9:00～16:00 (16:30 閉館)
休館日：開催期間中無休
お問合わせ：〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷 3-11-2 (長谷寺内)
電話 0467-22-6100 (直通)

鎌倉 長谷寺

極楽への道

トキトキ☆みんなの地獄めぐり

地獄って、どんなところ？ 極楽に行くには、どうしたらいいの？

はせてら じごく
長谷寺の「地獄」展が、この夏もやってきました。

今年、鎌倉幕府の3代将軍・源実朝が28歳の若さで暗殺されてから、ちょうど800年を迎えます。歌人としても知られる実朝は、「罪業を思ふ歌」と題して、こんな和歌を詠んでいます。

くわう み あびじごく
炎のみ 虚空に満てる阿鼻地獄
ゆくへもなしといふもはかなし

『金槐和歌集』652

この歌には、「自分はやがて地獄に落ちる身なのだ……」との思いが込められています。実朝に限らず、平安時代や鎌倉時代の人びとの多くは、仏教的な罪業観（罪の意識）にさいなまれていたようです。そのため、そうした罪の意識や地獄への恐怖から救ってくれる仏さま—阿弥陀如来や観音・勢至菩薩、地藏菩薩など—への信仰がさかんになりました。

浄土系寺院として長い歴史を歩んできた鎌倉の長谷寺には、本尊である観音菩薩のほか、阿弥陀如来や法然上人への帰依をものがたる寺宝が多く伝わっています。いにしえの人びとの、祈りのこころに触れてみてください。



《阿弥陀三尊来迎図》
鎌倉時代



《長谷観音両脇侍図》
室町時代



《秦広王図》(十王図より)
江戸時代



《地藏菩薩半跏像》
室町時代

 観音ミュージアム
KANNON MUSEUM

観音ミュージアム

検索

www.kannon-museum.jp

- 会期 2019年7月12日(金)~9月23日(月・祝)
- 入館料 大人(高校生以上)300円 小人(小・中学生)150円
※長谷寺拝観料別途
- 受付時間 9:00~16:00(16:30閉館)
- 休館日 開催期間中無休
(お問合わせ) 〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-11-2(長谷寺内)
電話 0467-22-6100(直通)
- 交通案内 【電車】 江ノ島電鉄長谷駅下車:徒歩5分
【車】 横浜横須賀道路朝比奈インターより30分

